

■会長 徳久 京子 ■幹事 藤原 新一 ■会場監督 小林 大二郎
例 会 場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)
〒194-0013 レンブラントホテル東京町田
事 務 局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F
〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

Vol.52

第2455回例会

No.19

令和5年1月10日

■会長の時間

会長 徳久 京子

みなさま、新年明けましておめでとうございます。昨年はみなさまのおかげで本当に楽しいクラブ活動を行うことができました。今年も、藤原幹事をはじめとする理事役員のみなさまと頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

年末年始の時間で日頃なかなかできない読書や映画・音楽鑑賞などに取り組まれた方も多いかと思ひます。私が年末年始に読んで面白かったのは「幸せに生きるために」という読み物でした。簡単に内容を申しあげると、①幸福感が高い人は、統計的に病気や怪我が少なく寿命も長い、②幸福感を得るためには「味わって食べる」「経験を楽しむ」「自然とふれあう」の三つが効果的である、③しかし「幸福感を得よう」という意識で物事に取り組むと、逆に幸福感は得られない、④これを避けるには目の前の幸福を得ようとするのではなく少し先の幸福を考えて行動すること、意識を他人に向けることが大事だということです。

このような話は、自己啓発とか宗教の話なのかと思われるかもしれませんが、実は日経新聞の「やさしい経済教室」に掲載された文章なのです。筆者は柴田悠さんという京都大学の人間科学の准教授の方です。国内外で多くの人を対象に行われた様々な実験を元に書かれています。

④の「意識を他人に向ける」というのは、要は他人のためにということにして、一日三回、普段以上に自分に親切な行為を行うAグループと、他人に親切な行為を行うBグループを比べるという実験が紹介されていました。四週間後、Aグループは幸福感が高まらない上に身体的炎症反応(白血球)が若干増えていたのに対し、Bグループでは幸福感が高くなり身体的炎症反応が減ったということです。「他人に親切にする」は、ロータリーの奉仕の精神に通じるものですし、日本には「情けはひとのためならず」ということわざもありますが、その必要性を科学的に解明しようとする学問があるということも興味深かったです。

この半年、会員のみなさんやクラブのことを考える時間が増えたことで、もちろん大変なこともあります。前向きな気持ちをいただいているのも間違いのないところですので、この実験の話は深く共感しました。この文章のおかげで、幸福感を得る機会を与えていただいたことに感謝し、残り半年を頑張ろうと思えた充電のお正月となりました。

■幹事報告

幹事 藤原 新一

- ・ 炉辺会開催月ですが、1月24日のクラブフォーラム以降、2月末までの開催をお願いいたします。テーマは「国際奉仕」についてです。各グループのリーダー・サブリーダーにおかれましては、準備等よろしくお願いいたします。
- ・ 今月の例会は、17日に、三枝さんの入会式・田中PGの卓話、24日にクラブフォーラムです。24日に障害者バイクを企画運営し

ている一般社団法人SSP(サイドスタンドプロジェクト)のイベントがプレジャーフォレストにて開催されます。詳細はご案内申し上げますが、イベント見学者についてはメークアップとなります。

- ・ 2023年2月13日(月) 13:00~13:45、相模女子大にて出前授業を行う予定です。
- ・ 2023年2月18日(土) 9:30~11:00まで幼児サッカー教室を開催する予定でしたが、感染状況を踏まえ延期の可能性もございます。改めてお知らせいたします。
- ・ 昨年12月31日付で、中島信義会員が(自己都合)退会となりました。

■会員卓話

米田 博一

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

本日は、『SDGs債への投資表明の意義』というテーマで皆さんに情報提供をさせていただきます。

ロータリクラブの活動として、「社会奉仕」はその根幹となりますが、環境保全等を含めた「社会貢献」への取り組みということが、この奉仕の精神にも繋がるものとして考えていきたいと思ひます。

国際社会の取り組みとして、「SDGs」という言葉が我々の社会にも相当浸透しています。そもそも「SDGs」とは、2015年に国連加盟193か国の完全な全会一致で採択され国際目標であり、持続可能な開発目標です。2030年までを一つの目途として、17のゴールが設定されています。

我々が所属する、また経営する会社や団体が、それぞれで事業活動や経済活動を行っていくうえで、このSDGsにどのように関わっていくのかということは、国際社会にどのように貢献していくのかということと同じであり、事業計画を策定する中で、この取り組み方針を盛り込んでいくことが、当然の世の中になってきています。また、ある企業や地方公共団体は、このSDGsに向けた事業展開を図るうえで、資金調達を行い、その集めた資金でSDGsで掲げられたゴールに向かって事業を展開し、国際社会に貢献していくという考え方があります。そのために債券を発行しますが、この債券を一般的に『SDGs債』と呼んでいます。グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド等々の呼び方もありますが、これらを総称して『SDGs債』と呼んでいます。

一方で投資家が、この『SDGs債』にどのように関わっていくのかという点に今日はフォーカスしたいと思います。

『投資表明』という考え方があります。

投資家である法人は、自社や自団体の本業が、このSDGsの17の目標の中で、どの目標に繋がっているのかということが、それぞれ事業計画を策定する中で考えられていると思ひます。いわゆるマッピングになりますが、このマッピングは、本業だけではかなり限定されたものになりがちです。

(裏面につづく)

今週の 情報	本日のプログラム	田中パストガバナー卓話
	次会のプログラム	クラブフォーラム
	近隣クラブ例会情報等	

しかし、この『SDGs債』に投資をすることで、間接的にその債券の発行体の目的にも賛同することになり、このマッピングの幅が広がります。これが『SDGs債』に投資をする一つの目的です。

もう一つの目的は「投資表明」となりますが、自社・自団体が、『SDGs債』に投資をすることで、社会的地位の向上や信用力の向上が見込まれることです。少ししたたかな表現をすれば、宣伝効果も得ることができます。

『SDGs債』に投資をし、投資表明をしている会社や団体は多数あります。例えば、大学等の学校法人は非常に意欲的です、相模原市や東京都等の地方公共団体も投資表明をしています。また上場会社だけに限らず、本当に様々な企業が投資表明をすることで、自社・自団体がSDGsに賛同し、国際社会の共通の目標に向かって取り組んでいるんだということを宣言しています。

このように、『SDGs債』に投資をすることは、社会貢献の一つとして非常に有効な手段であり、また自社・自団体のプライオリティの向上にも繋がるものと考えられています。

皆さんにも是非この「投資表明」の意義についてご理解いただきたいと思います。



■慶祝

誕生日記念祝

- 1月 1日 小林大二郎 君
- 1月 8日 藤原 新一 君
- 1月14日 中村 文子 君
- 1月17日 奥橋 園子 君
- 1月19日 若林 美佳 君
- 1月30日 栗林 一郎 君

誕生日記念祝 (ご夫人)

- 1月 6日 栗田 直輝 君 夫人 里 奈 様
- 1月15日 松山 隆雄 君 夫人 圭 子 様
- 1月24日 松井 克之 君 夫人 いず美 様
- 1月24日 鈴木 昌彦 君 夫人 和 子 様

結婚記念日祝

- 1月 7日 鈴木 雅朗 君
- 1月17日 江尻 猛 君



■本日のスマイルBOX

徳久 京子 君、藤原 新一 君

★あけましておめでとうございます。昨年は会員の皆様が大変お世話になりました。あと半年よろしく願いいたします。米田様、卓話楽しみにしております。

藤原 新一 君

★48歳になり2日が過ぎました。気持ちは若いですが、身体がついていきません。年男です。ピョンピョン頑張ります。

栗林 一郎 君

★新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。誕生日をいただきありがとうございます。

杉崎 信一 君、一ノ瀬 裕 君

★新年あけましておめでとうございます。今年も折り返しとなり残り6ヶ月宜しく願いいたします。

足立 旬一 君

★新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

本日週報担当です。原稿お願いいたします。

松山 隆雄 君

★新年あけましておめでとうございます。本年も よろしく お願い申し上げます！

市川 孝幸 君、長瀬 徹 君、栗田 直輝 君、奥橋 園子 君、小林 大二郎 君、江田 昌弘 君、森泉 朋子 君

★あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年は皆様と楽しく飲みたいです。

小林 大二郎 君

★誕生日プレゼントありがとうございます。48歳(年男)になりました。次の12年も宜しく願い致します。

鈴木 昌彦 君

★本年もよろしくお願い申し上げます。妻の誕生日祝いをありがとうございます。

中村 文子 君

★お誕生日プレゼントをいただき、ありがとうございます。また一歳若返りました！

小野田 勝宏 君

★昨年のクリスマス例会ではいたらぬ事が多かったかと思いますが、皆様のおかげで無事例会が出来ました。本当にありがとうございました。本年も宜しく願い致します。

■本日のスマイル 41,000円
■累 計 581,000円

□出席報告：出席委員会		1月10日	会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回 第 2453 回 12月 13日	当日		48 (44)	32	1	33	75.00	11
	修正		48 (44)	32	1	33	75.00	11
第 2455 回	1月 10日	当日	48 (42)	28	3	31	73.81	11

12月13日(修正)完全欠席 = 一ノ瀬、江田、黒河内(彰)、澁谷(直)、鈴木(雅)、中島、中山(智)、松井、松山、溝渕、若林